



2023年4月号

検査室だより

新年度が始まりました。新しい環境にワクワクしたり、不安な気持ちになったりするでしょう。WBC 優勝の時に見た大谷選手の雄叫びが背中を押してくれるようで、ぐっと力が湧いてきます。がんばれそうな春です。

先日新聞の片隅に「エイズ感染 6 年連続減」という小さな記事が載っていました。新型コロナウイルス流行による検査控えの影響で減少したのかもしれないとはいうものの減少したのは喜ばしいことです。初めてアメリカでエイズ患者が報告されたのは 1981 年、ほんの 40 年前のことです。「エイズ」は HIV（ヒト免疫不全ウイルス）によって引き起こされる病気の総称です。HIV に感染すると、免疫のしくみの中心である T リンパ球やマクロファージの中で増殖します。その結果、免疫力を低下させ様々な病気を発症します。指標となる 23 の疾患を発症した時点でエイズと診断されます。HIV の主な感染経路は、性的感染、血液感染、母子感染の 3 つです。精液、膣分泌液、血液、母乳などに多く分泌されます。唾液、涙、尿などの体液には他のヒトに感染させるだけのウイルス量は分泌されていません。感染は、粘膜（膣、口腔内）や傷口からです。性交渉の場合にはコンドームを正しく使う。注射器具の再利用はしない。母親が HIV 陽性の場合には母乳を与えないなど正しく予防することで感染を防ぐことが出来ます。感染後 8 週間以内には風邪のような症状が見られます。それが治まると 10 年ほど何も症状のない時期が続きます。もしかして・・・と思うことがあったら、検査することをお勧めします。HIV 感染を疑ってからすぐには HIV 抗体は検出されません。少なくとも 6 週間以上経ってから検査を受けてください。各自治体の保健所では HIV の検査を無料・匿名で行っています。不安な方はぜひ検査を受けてください。今や HIV 感染症は「死の病」ではなく、コントロール可能な「慢性疾患」です。早期発見が重要です。



今年は春の訪れが早くて桜も早く咲きました。花吹雪の中での入社式・入学式だったことでしょうか。新しい環境の中で大変なことも多いと思います。あわてず焦らず、一步ずつです。



公衆保健協会 検査室

